

Labo News

新春を迎えて



愛知県知事 大村 秀章

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住 所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電 話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 梶山 広美
 編集人 山田 真

No.418 目次

- ◆年頭挨拶 大村秀章……………(1)
- ◆年頭挨拶 松本一年……………(2)
- ◆年頭挨拶 梶山広美……………(2)
- ◆地域ニューリーダー育成研修会参加報告…(3)
- ◆全国「検査と健康展」……………(4)
- ◆管理運営研修会……………(5)
- ◆愛臨技精度管理調査「結果検討会」に参加して……………(6)
- ◆地区だより……………(6)
- ◆知多地区学術講演会……………(7)
- ◆西三河地区研修会……………(7)
- ◆研究会……………(8)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会通信(第46回)……………(10)

あけましておめでとうございます。

昨年は、リニア中央新幹線の愛知県内での本格着工、MRJの米国での飛行試験開始など、日本の未来を創るプロジェクトがまたひとつ大きく前進しました。

また、2026年アジア競技大会の開催決定、有料道路コンセッション、公道での自動走行の実証実験など、新たな取組に果敢に挑戦し、着実に成果を挙げた1年となりました。

今年も、こうした取組を発展させるとともに、新たな取組に積極的にチャレンジし、愛知の可能性を大きく広げる1年としてまいります。

2027年度のリニア開業に向け、鉄道・道路網の強化など中京大都市圏づくりを着実に進めながら、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の強化、国際展示場の整備などにより、愛知の産業力を一層強化してまいります。

また、“Heart” of JAPAN ～ Technology & Traditionをキャッチワードに、武将観光やユネスコ無形文化遺産に登録された日本一の山車からくりなど愛知の魅力の創造・発信に取り組むとともに、積極的に国際交流を進めてまいります。

そして、認知症対策の拠点づくりとなる「オレンジタウン構想」にも着手するほか、医療・福祉、教育・人づくり、防災、環境、東三河地域の振興にもしっかり取り組み、愛知の総合力に更なる厚みを増してまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成29年元旦

新年を迎えて



愛知県健康福祉部
保健医療局長
松本 一年

あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

愛知県臨床検査技師会の皆様方には、日頃から本県の健康福祉行政の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会は、昭和62年4月に社団法人として活動を始められ、本年は三十周年の節目を迎えられることとなります。これまで長きにわたり、臨床検査に携わる県内唯一の技術者集団として、知識や技術の研鑽に努められ、検査技能を通じて地域保健事業などにも献身的に

取り組み、本県の保健衛生の向上に大きく貢献していただきました。心から敬意を表しますとともに、本年もこれまで以上の御活躍を期待しているところでございます。

さて、平成28年4月1日から感染症法施行規則の一部改正に伴い、感染症の原因究明や疫学調査等を目的とした1類感染症から5類感染症の病原体検査について、標準作業書の作成や精度管理の実施等が義務づけられ、定点医療機関、衛生研究所及び保健所における病原体検査の信頼性を確保するための機能強化が図られ、皆様にも御協力いただいております。

また、皆様方が従事される医療分野におきましても、臨床検査は疾病の診断や治療における科学的根拠として、正確かつ迅速な検査データの提供が不可欠であり、その重要性は益々高くなっております。臨床検査の専門家である皆様方におかれましては、今後とも知識・技術の研鑽に努められ、正確な検査を行っていただきますとともに、県民の健康の保持及び増進のため、より一層の御尽力をお願い申し上げます。

最後に、本年の皆様方の御健康と貴会の御発展を心からお祈りいたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。
平成29年 元旦

年頭のごあいさつ



公益社団法人
愛知県臨床検査技師会
会長 **槇山 広美**

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、愛知県臨床検査技師会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会は、今年法人設立30周年を迎えます。昨年10月29日には栄ガスビルにおいて法人設立30周年記念式典を盛大に執り行うことができました。これもひとえに、愛知県、愛知県医師会、関係諸団体のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、平成27年4月1日、臨床検査技師が診療の補助として採血に加え、検体採取が実施できるようになり、すべての臨床検査技師が受講できるように次年度以降も「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」が全国で開催されます。現在、日臨技を中心として、

チーム医療推進を図る中、検体採取から検査説明を実施し検査結果の精度保証を確保するとともに、病棟検査技師や救急検査技師の育成、そして在宅検査等の実施に向けた取り組みが始まっています。臨床検査技師が専門性を高め、県民の健康増進と公衆衛生向上の役割を果たすべく、会員一人一人が自己研鑽を積むために、当会は職能団体として公益事業、学術活動や人材育成等を推進してまいります。

また、平成29年度日臨技中部圏支部医学検査学会を、9月30日・10月1日の2日間にわたり名古屋国際会議場（白鳥ホール）にて、当会担当で開催します。テーマは「未来を担う医療人として～愛知からの変革、チーム医療、先駆的医療への取り組み～」です。未来を担う医療人として何が必要か、どう行動するかを皆様と共に考える学会にしたいと考えています。また、県民の皆さまにも公開講演を開催し参加いただけるよう企画しております。皆様のご協力とご参加をお願い致します。また、4年目となりますが健康増進への啓発と臨床検査技師の認知度向上を目的とした「全国検査と健康展」にも力を入れていきます。

我々臨床検査技師には、様々な領域での活躍が求められています。新しい年を迎え気持ちも新たに、愛知県下の医療の質の向上ならびに当会の更なる発展のために活動していく所存です。本年も、昨年同様に温かいご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。会員の皆さまの益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

地域ニューリーダー育成研修会参加報告

小牧市民病院 藤田 京子

過日11月5－7日、今年で3回目となる日臨技地域ニューリーダー育成研修会に参加して参りました。愛臨技よりお誘いをいただいたときにはたいへん驚きましたがこんな機会は二度とないと思い、恐縮の極みでありましたがお受けいたしました。

この研修会は各都道府県より代表者1名ずつが参加し、各自が日頃悩んでいる問題を持ち寄り、解決策を見出すための手法を学ぶことを目的としています。

先に参加された先輩からの「早朝から深夜までのグループワーク」との前情報や、2泊3日の研修会は初対面の方との相部屋であることなど、若干不安な要素もありましたが、どんな手法を学べるのか、どんな方が参加されるのか、期待する気持ちもあり、いろいろな感情を持ち合わせながら東京晴海の会場へ向かいました。

今年度の参加は37都府県、欠席は過去2回より多く、少し残念でした。来年こそは47都道府県がそろって参加できることと信じています。

初日、宮島会長からの叱咤激励を受け、ピリッとした空気の中、研修会がスタートしました。始まりこそ緊張に包まれた会場でしたが、すぐに打ち解け、初対面とは思えないほど和やかな雰囲気活発な意見交換が行われました。また、一日の研修が終わると、各自仲良くなったメンバーと夜の深まった街へ繰り出し、時間外の意見交換も活発に行われていました。

研修ではオフサイトミーティングとMTSを学びました。オフサイトミーティングとは、「気楽にまじめな話をする」というコンセプトで、問題解決型の話し合いではなく、参加者の経験や思いをありのままに共有するものです。安心して話し合える状態を基礎とし、コミュニケーション

の改善、チーム力向上、主体性の喚起などに有効です。MTS (Management by Target Setting) とはステップ表を用い、自分の志、目標達成へのストーリー、行動作戦のステップ、協力者の共感など、目標達成イメージを具体的に見える化していくものです。これらの手法を用い、実践形式で仲間とともに問題解決に向け取り組み、最終日にはチームごとに発表を行いました。どのチームも短時間でまとめたとは思えない、素晴らしい発表でした。

今回の研修会はタイトな日程であったにも関わらず、終わった後には達成感で満たされていました。楽しかったという言葉がぴったりです。交流できたメンバーとの仲間意識が、疲労を達成感に変換してくれたのだと思います。研修会は終了しましたが、仲間たちと築いたお互いを支えあう親密な関係は、現在も継続しています。

研修で学んだことも、新たな仲間ができたことも素晴らしい経験となりました。このような貴重な機会を与えてくださいましたこと、日臨技、愛臨技の関係各位に心より感謝いたします。本当にありがとうございました。



全国「検査と健康展」を開催して

組織部長 牛田 展浩

平成28年11月23日(水・祝) イオンモール熱田1Fイベントスペースにて平成28年度全国「検査と健康展」開催致しました。今回は、臨床検査技師という職業を知っていただくためのDVD放映、パネル展示、リーフレット配布、近隣の医療系大学の紹介などに加え、臨床検査体験コーナーとして顕微鏡を覗いてみる体験、模擬採血体験、超音波検査のデモといった主にお子さんに興味を持っていただく企画や骨密度や血管年齢などの年配の方に人気のあるコーナーを設けました。非常に人通りの多い一画にある会場で、来場者は延べ1,213名と大変盛況でした。イベント開催にあたって参加、協力して頂いた方々に厚く御礼申し上げます。

検査と健康展に参加して

国家公務員共済組合連合会 名城病院 橋村 正人

今年で三回目となるイオンモール熱田で開催された、「検査と健康展」に参加させて頂きました。病理細胞検査研究班の一員として、子供対象に口腔内の細胞を擦過して染色したものを、顕微鏡で検鏡するなどのコーナーを担当させて頂きました。子供たちは自分の細胞にかなり興味を持って頂けたように感じました。たまに、口腔内の常在菌が染色されると、驚きと喚声が上がっていたのが印象的でした。子供に白衣を着せるコーナーは大変な人気でした、あれ程小さいサイズの白衣、オベ着があるとは初めて知りました。また、子供たちは採血の練習や超音波の体験、ピペット操作などでは真剣に取り組んでいるのが微笑ましく思われ、未来の検査技師がこの中から出ることを祈っておりました。

骨密度測定や血管年齢測定は毎回大盛況で待ち時間が出るような状態で、皆様の健康に対する関心の高さがうかがえ、「検査と健康展」は非常に盛況に行われたと思います。ただ、残念なことに、今後を担う中高生の姿をあまり見かけず、小さいお子さんと年配の方が多かったように思われます。来年度は今年の経験を生かして、さらに多くの方に検査技師を知ってもらえるような機会にしていきたいと思います。



管理運営研修会を開催して

組織部長 牛田 展浩

平成28年11月26日(土)、株式会社カーク5F会議室にて愛知県臨床検査技師長協議会との共催のもと管理運営研修会が開催されました。今回の研修会では、まず株式会社カーク病院事業部部长 鈴木宏幸氏に「賛助会員としての技師会活動について」のお話を頂き、また、和泉市立病院事務長 櫛引健一先生に「これからの検査科のあり方・事務長の立場で検査科に望む事」と題して人材育成の重要性についてのご講演をいただきました。会場一杯の68名の参加者があり、盛況裡に終了したことにこの紙面をお借りして感謝致します。

管理運営研修会に参加して

JCHO中京病院 片山 孝文

多くの研修会や勉強会は、検査技術や検査精度向上を目的に開催されます。

一方、今回参加した研修会は、愛知県臨床検査技師会、臨床検査技師長協議会の主催（共催）のためか、ほとんどの参加者が各施設の所属長など役職者となっており、標題のように管理運営を学ぶことを目的に開催されていました。

講演1「賛助会員としての技師会活動について」を鈴木宏幸氏（株式会社カーク）が36年に渡る活動を話され、内容は技師会行事との関わり、公正競争規約の普及から大規模災害時における連携構築まで及びました。私が20代のころあったソフトボール大会を懐かしむとともに、近年の機器提供・共同研究の煩雑化（適正化）、災害連携には身の引き締まる思いがありました。熊本地震では賛助会員加盟団体が営業車を提供した事例紹介、また、愛知県で

は大規模災害時の臨床検査薬支援対策を県健康福祉部と協議中とのことでした。

講演2では「管理運営の学びは、いつから始まるか」を櫛引健一氏（和泉市立病院）が前職であった検査技師長との違いをもとに話されました。

“関西人は笑いを”となごや飯からはじまる講演はいつのまにか人材育成から経営企画に、さらに、検査部外から俯瞰した検査部運営へとかわっていきます。ゆとり・さとの世代別特徴、コメディカル別の業務特性など櫛引氏の経験をもとにした管理運営感覚は興味深く、今後の業務に活かせるものでした。

本研修会は、技師長・副技師長の参加が多く、管理運営を学ぶことが目的でしたが、実は中堅技師に学んでいただきたい内容であり、検査技師会員の多くが管理運営能力を向上させれば、検査科にとり最も大きな財産（レガシー）になると思い寄稿します。



愛臨技精度管理調査「結果検討会」に参加して

総合上飯田第一病院 夏目 剣太

平成28年8月に行った愛知県臨床検査精度管理調査の結果で、一部に良くない評価がついてしまったため、同年11月10日(木) 18時30分よりウインクあいちで開催された精度管理結果検討会に参加させて頂きました。「結果検討会」なるものに参加するのは今回が初めてで、どんな厳しいお叱りが待っているのか不安でいっぱいでした。検討会は各部門のテーブルに分かれ、班員の方々が事前に用意した資料を駆使し、今回の評価のポイントや出題の意図の説明、各施設の問題点を丁寧に説明して頂きました。更に、他施設の方々も交えて、日常業務をどのようにこなしているか等々のディスカッションも行いました。皆さんの積極的な姿勢に感化され、私も積極的に議論に参加し、気づけば最初に抱いていた不安



は払拭されていました。今回の貴重な経験を糧として、より精度の高い検査を提供していこうと思います。ありがとうございました。

地区だより

東三河地区

一般社団法人 豊橋市医師会臨床検査センター

稲石 友彦

もう40年以上前ですが、ブルース・リーがカンフー映画で一世を風靡しました。そして日本では少林寺拳法が大人気でした。私が少林寺拳法を始めた頃の道場は人が溢れてものすごい熱気でした。少林寺拳法と聞いても今では知らない人も多いと思いますが、突き・蹴り・投げなどを主にした護身の技で、「破邪の拳」と呼ばれ、先に仕掛けることは厳しく戒められた正義の拳です。また技の稽古と併せ、お釈迦様の教えを基にした法話、座禅なども行うことにより、健康増進、精神修養、護身練丹を兼ね備えた、バランスのとれた体と心を作ることができます。

若い頃の仕事は同じ場所で、同じことの繰り返しでしたから、気が滅入ることも、体が凝り固まるこ

ともありました。そんな日常から道場に一步足を踏み入れると空気が全く変わるので。稽古が始まり技に没頭することで全ての煩わしい思いから開放されていくのです。そして稽古が終わり道場から出ればまた日常が始まるわけですが、そのときには煩わしいと思っていた事が単純明快に思えているのです。全てのことがそうとは言えませんが、私にとって道場がパワースポットであることは間違いありません。

少林寺拳法は性別に関係なく高齢になっても続けられ、70歳を過ぎても現役の方が多くいます。興味がある方はお近くの道場を訪ねてみては如何でしょうか。



著者本人 (天秤投げ)



全体稽古

知多地区学術講演会

専門教科：20点

日時：平成29年2月16日(木) 19:00～20:00

場所：半田市医師会健康管理センター

PET棟4階 大会議室

テーマ：食物アレルギーの診断における特異的IgE抗体検査の使い方

講師：あいち小児保健医療総合センター

副センター長

伊藤 浩明

司会：半田市立半田病院

舟橋 利尚

内容：即時型食物アレルギーの診断に、特異的IgE抗体(sIgE)検査は必須です。しかし、sIgEが陽性であっても、摂取時の臨床症状がなければ食物アレルギーとは診断されません。最近では、小麦のω-5グリアジンや、ピーナッツのAra h 2などの検査も実用化されて、より特異度の高い診断が可能となりました。

本講演では、sIgE検査からどこまで正しい診断に迫ることができるか、一部研究段階の検査も含めてご紹介します。

多数のご参加をお待ちしています。

西三河地区研修会

基礎教科：20点

日時：平成29年2月25日(土) 15:00～17:00

場所：八千代病院 新棟5階会議室

テーマ：災害について考えよう

講師：1. 災害医療について考える

～災害時に求められる臨床検査～

医療法人社団大須賀医院理事

森谷 裕司

2. 熊本震災医療ボランティアに参加して

JA愛知厚生連豊田厚生病院

迫 欣二

司会：碧南市民病院

井上 正朗

内容：6年前の東日本大震災に続き、昨年4月に熊本巨大震災、10月に鳥取地震が発生しました。

私たちの住む東海地方では巨大連動地震が発生すると予想され、その対策や対応を行っていく必要があります。今回は、災害現場での経験豊富な講師の方々をお招きして災害時に求められる臨床検査について考えたいと思います。一般の方々にも、災害現場の現状を知って頂き、自宅での対策に役立てて頂けると考えますので、多数のご参加をお待ちしています。

広報部からのお知らせ

愛臨技ホームページの「求人情報」につきましては都合により閉鎖させていただきました。

今後は、日臨技ホームページ

<http://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jeo/Account/>

Home.aspx

の活用をお願いします。

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。

会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。

申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

お詫びと訂正

らぼニュース12月号の8ページ尾張南地区研修会の生涯教育の教科「専門教科：20点」でしたが「基礎教科：20点」の間違いでした。お詫びして訂正いたします。

8ページ 生涯教育

☒ 専門教科：20点

☐ 基礎教科：20点

お詫びして訂正いたします。

2016年12月9日現在 正会員数 3,171名

研 究 会

生物化学分析検査研究班

「愛臨技精度管理事業」

基礎教科：20点

日 時：平成29年2月4日(土) 15:00～17:00

場 所：株式会社カーク本社ビル5F大会議室
名古屋市中区丸の内3-8-5

テ ー マ：平成28年度愛臨技精度管理報告
敗血症診療ガイドライン

講 師：1. 臨床化学部門 精度管理報告
厚生連江南厚生病院 林 克彦
愛知医科大学病院 森部 龍一
2. 免疫血清部門 精度管理報告
名古屋掖済会病院 岡本 明紘
3. 敗血症診療ガイドラインの変遷とプレセプシンのご紹介
株式会社 LSIメディエンス

司 会：厚生連安城更生病院 大島 匠平
半田市医師会健康管理センター 鈴木 美穂

内 容：平成28年度愛知県精度管理調査の解析結果について詳細報告します。また、講演では、現在改訂作業が進んでいる敗血症診療ガイドラインについてのポイント、PCTにつづく敗血症マーカーとしてのプレセプシンについて解説していただきます。

研 究 会

病理細胞検査研究班

「愛臨技精度管理事業」

基礎教科：20点

日 時：平成29年2月11日(土) 15:00～17:00

場 所：株式会社カーク本社ビル5F 大会議室
名古屋市中区三の丸3-8-5

テ ー マ：1. 平成28年度愛臨技精度管理調査報告
2. ISO 15189:2013認証取得施設の一例

講 師：1. 精度管理調査報告 細胞部門
医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院
中根 昌洋
精度管理調査報告 病理部門
公立陶生病院 柚木 浩良

2. 名古屋大学医学部附属病院

原 稔晶

司 会：藤田保健衛生大学病院 川島 佳晃
内 容：平成28年度の愛臨技精度管理調査報告を行います。また、ISO15189の認定を取得された病理検査室の取り組み、マネジメントについて紹介して頂きます。標本作製、精度管理、作業環境対策、安全管理対策、感染症対策など病理技師の役割は多岐にわたる中で、病理検査室の立場からどのような医療サービスを提供できるのか?を考えたいと思います。多くの方の参加をお待ちしております。

研 究 会

輸血検査研究班

「愛臨技精度管理事業」

基礎教科：20点

日 時：平成29年2月11日(土) 15:00～17:30

場 所：名古屋セントラル病院2階多目的ホール

テ ー マ：輸血検査の環境について見直そう!

講 師：1) 平成28年度精度管理調査報告
春日井市民病院 神野 洋彰
2) 抗体価測定とは?
株式会社 カイノス 西野 主眞
3) 新しくなったI & A (輸血機能評価精度)について

愛知医科大学病院 安藤 高宜
司 会：名古屋市立大学病院 小池 史泰

内 容：1) 平成28年度愛臨技精度管理調査結果報告並びに参加施設における輸血検査の現状や検査上注意を要するポイントまた設問等の解説をします。
2) 精度管理調査項目のひとつでもある抗体価測定について、基本的手技および注意事項や測定意義について解説します。
3) 平成28年1月に改定されたI&A制度変更点を中心に解説していただきます。安全な輸血を実施するために必要な検査環境の整備や見直しに役立つはずです。
多くの参加をお待ちしております。

※研究会後、精度管理に関する相談会を開催します。相談のある方は、受付時にお申し出ください。なお、施設別報告書、検査結果等の資料を持参してください。

研 究 会

一般検査研究班

「愛臨技精度管理事業」

基礎教科：20点

日 時：平成29年2月11日(土) 15:30～17:30

場 所：名城病院 地下大会議室

テ ー マ：平成28年度愛臨技精度管理報告会

講 師：名古屋大学医学部附属病院 岩崎 卓識
JA愛知厚生連豊田厚生病院 鈴木 康太
医療法人青山病院 平田 基裕
社会医療法人明陽会 成田記念病院

望月 里恵

司 会：名古屋大学医学部附属病院 岩崎 卓識

内 容：平成28年度の愛臨技精度管理調査の報告会を行います。特にフォトサーベイでは、成分の見方、考え方から、類似成分との鑑別方法など解説します。サーベイに参加してない施設の方にも役立つ内容です。

特別講演

テ ー マ：命を脅かす寄生虫症

講 師：愛知医科大学医学部 感染・免疫学講座
角坂 照貴

司 会：愛知医科大学病院 山口 京子

内 容：これまで、ご講演や実習で御指導いただきました角坂先生が3月で退官されます。最後に「命を脅かす寄生虫症」と題しまして特別講演をしていただきます。多数の方の参加をお待ちしております。

研 究 会

血液検査研究班

「愛臨技精度管理事業」

基礎教科：20点

日 時：平成29年2月18日(土) 15:00～17:00

場 所：リップルスクエア

アーバンネット名古屋ビル20F

久屋大通駅より徒歩約1分

テ ー マ：1. 平成28年度愛臨技精度管理調査報告
2. 血液形態検査における標準化の普及に向けて

講 師：1. 血球計数部門報告
豊田厚生病院 酒巻 尚子
形態部門報告
愛知医科大学病院 寺島 舞
2. 愛知医科大学病院 今井 正人

司 会：名古屋大学医学部附属病院 山本ゆか子

内 容：好中球桿状核球と分葉核球の目視分類について、日本臨床衛生検査技師会と日本検査血液学会が好中球系細胞の新分類基準(2013年11月)を提唱しました。本研究会にて伝達講習を行いますので、多数の参加をお待ちしています。

研 究 会

生理検査研究班

「愛臨技精度管理事業」

基礎教科：20点

日 時：平成29年2月18日(土) 15:00～17:00

場 所：名古屋市立大学医学研究科

医学部研究棟11階講義室A

テ ー マ：平成28年度愛臨技精度管理調査報告

講 師：1. 愛臨技精度管理調査報告 総括
豊橋市民病院 手嶋 充善
2. 心電図
厚生連渥美病院 鋤柄 冴美
3. 脳・神経生理
名古屋大学医学部附属病院
榊原久美子

4. 呼吸機能
厚生連海南病院 樋口 昌哉

5. 心・血管エコー
津島市民病院 山梶 恵美

6. 腹部・表在エコー
JCHO中京病院 加藤 鮎美

司 会：厚生連江南厚生病院 柴田 康孝

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信 (第46回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物、「呼吸機能検査における手引書」についてご紹介いたします。

呼吸機能検査を必要とする被検者がどの医療機関でもどの検査者でも同レベルの結果が得られることにより、医療の質の向上につながるため、この手引書が皆さんに広く利用されるためガイドラインを作成しました、是非ご活用ください。今回は“肺活量 掛け声のタイミングと例”を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、公益社団法人 愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）

Ⅵ. 呼吸機能検査の実際

1. 肺活量

【説明のポイント】

あまり長々と検査説明をすると、かえって患者は不安になって緊張してしまうので、ひと通りの説明後、掛け声を掛けるからそれに合わせて最後まで吐ききって、胸一杯吸えよということを伝える。測定スピードはゆっくりと行うとした記述が多いが、患者の安静呼吸のスピードに合わせてそのままのスピードで最大呼吸出させる。患者の中には“ゆっくり＝時間をかけての呼吸”と理解される人もいるので注意が必要である。

（2）検査の進め方

掛け声のタイミングを示す。（図 14）

- ①普通に楽な呼吸をしてください
- ②そのまま息を吐いて～
- ③最後まで吐いて～ガンバレ～
- ④もう一息、フーと吐いて～
- ⑤吐けなくなったら吸って～
- ⑥胸一杯に吸って～
- ⑦もう一息、スーと吸って～
- ⑧吸えなくなったら吐いて～
- ⑨最後まで吐いて～ガンバレ～
- ⑩もう一息、フーと吐いて～
- ⑪吐けなくなったら吸って～
- ⑫楽にしてください

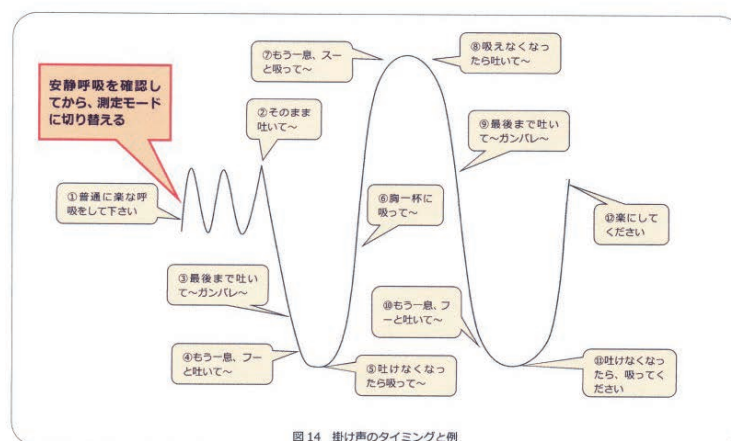


図 14 掛け声のタイミングと例

【掛け声のコツ】

被検者の呼吸に合わせて掛け声をかけることが大事である。図 14 のポイント点でのコツを示す。

①普段は鼻で呼吸するので鼻をつまんで口で呼吸するのは難しく、深呼吸に近い状態の呼吸になることも多い。肩で呼吸をしたり、一回換気量が1Lを超えるような時は安静換気ではないので、「深呼吸ではなくて、もう少し楽に呼吸してください。」と促す。また、緊張により段々安静呼吸位が上がってくる時はそこで検査を停止し、マウスピースをはずして深呼吸を促し、リラックスさせてから再度検査を開始する。

②安静呼吸を少なくとも3回以上した後、患者の呼吸に合わせて、患者が吐く時に「そのまま吐いて～」と声をかける。

③⑦途中でやめてしまわないように「もう一息」と声をかけ、プラトー（モニター上で2秒以上気量に変化がなく水平状態）を確認する。